



# 上向台小だより

12月号

西東京市立上向台小学校

令和6年12月2日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

## 子どもがつくる！自立した学習者が輝く行事や学び！！

～学びのプロセス（見通し、活動、振り返り）を自分で回そう！～ 校長 酒見 裕子

2学期は、移動教室や体育発表会、音楽会、社会科見学、生活科見学など多くの行事がありました。2学期に実施した様々な行事の中から、今回は体育発表会を例にして述べたいと思います。

体育発表会については、昨年度から子どもたち主体の行事にしたいと考えていました。（R5.10 学校便り参照）

例えば、実施する種目等についても、子どもたち自身で決めたり選択したりすること、体育発表会当日も子どもたち自身で進行したりすることなど、今、本校で研究している「自立した学習者の育成」に繋がる行事にしていきたいということを、教職員と共有してきました。

そして迎えた今年度は、行事を子どもたちが自分自身のものとして行えるよう、各学年の発達段階に応じて、実行委員やリーダーを決めて活動するなど、それぞれ工夫して進めていました。

### 【各学年の工夫】

- Google クラウドスルームを活用し、子どもからの発信で、衣装やダンスの振り付けを相談していた。
- Google サイトに、ダンスリーダーのダンス動画をアップして、スピードを選んで視聴できるようにしていた。
- 体育発表会に向けた学年集会で、今年のテーマや曲のイメージを伝えるために子どもたちがスライドを作成し、発表していた。
- ダンスのテーマ案を考え、それに合う曲を決めるため、タブレット上で意見を交換していた。
- ダンス実行委員が、自分が担当している部分の振り付けを、スプレッドシートを活用して考えていた。
- ダンスの中で、自分のオリジナルのポーズを考えていた。
- 学級ごとにオリジナルのダンスを考えていた。

また、子どもたちは、自分自身の「課題」をもち、練習後は「振り返り」をするなど、自分を高める努力をしていました。そして、どの学年も、自分たちでつくる素晴らしい体育発表会となりました。

本来、子どもたちは自分たちでできる力をもっている。私たち教師はそのような力をもっと信じるのが大切だと実感しました。

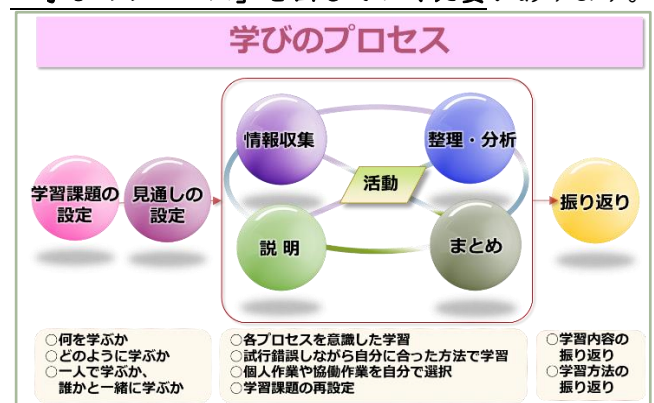
さて、学習指導要領では、「予測困難な変化」に主体的に向き合い、他者と協働しながら課題を解決し、新しい価値を創造し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるための資質・能力の育成が求められています。

これから先の未来は、大人も子どもも先行き不透明な時代を生きることになります。そうした時代を生きていくためには、決められた問題を決められた方法ですばやく正解を出すという従来型の学力だけでは対応が難しいでしょう。自ら問題を発見し、自ら問いを立て、自ら情報を集め、様々な知識や技能をもった人々と協働して問題を解決していく力が必要になってきます。

そして、その原動力として、目標に向かって試行錯誤を繰り返しながら学びを深めていくための「学びに向かう力」が求められています。この「学びに向かう力」を育むためには、児童自身が学習の目標について理解し、計画を立て、「見通し」をもって学習し、その過程や達成状況を「振り返り」、次に

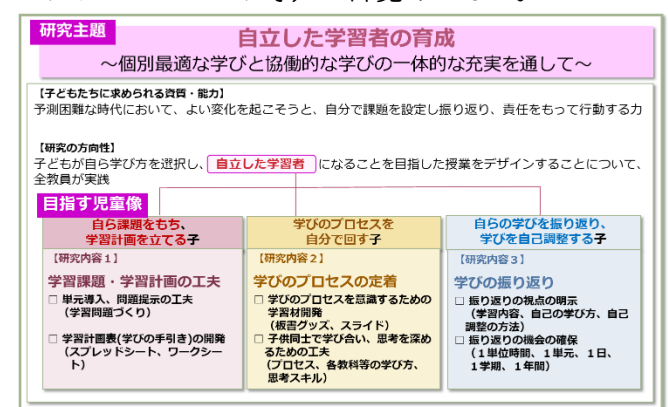
つなげるなど、学習の進め方を「自ら調整する力」を育てていくことが重要です。

ともすると、今までは教師から一方的に与えられた学習課題に取り組むという授業が多かったように思います。これから生涯に渡って学び続け、先行き不透明な社会の中でも主体的に問題を解決していくには、子どもたち自身の「学びに向かう力」で、「学びのプロセス」を回していく必要があります。



↑本校の校内研究における「学びのプロセス」  
(参考：デジタルを活用したこれからの学びの提案 令和5年4月 東京都教育委員会)

冒頭でも御紹介したように、本校では研究主題を「自立した学習者の育成」とし、下の図にある3つの目指す児童像及び研究内容に沿って、研究を進めています。保護者の皆さんは、ぜひお子さんと一緒に、各教科等の学習計画や振り返り（スプレッドシートやワークシート等）を御覧ください。



12月、どこの御家庭でも一年の「振り返り」を行い、新年に向けて決意をしたいと思います。

今年一年、子どもたちは日々の学習や様々な活動、行事等の中で成長してきました。また、学校だけでなく御家庭でも様々な成長を感じられる場面があったのではないかと思います。

学びや活動にどのように取り組んできたのか、そしてその取組からどのような成果や課題を得たか、どのように成長をしてきたかなどを考え、新年の目標や「見通し」をもてるよう、ぜひ、御家庭でもお子さんと一緒に「振り返り」をしていただければ幸いです。